

1 目的

岩手大学大学院博士課程研究遂行協力員制度は、優秀な博士課程学生を研究遂行協力員に指名し、学業を奨励するとともに、本学の学術研究の質的レベルの向上を図ることを目的とする。

2 研究遂行協力員対象者

研究遂行協力員の対象者は、本学の**大学院博士後期課程の学生**とする。ただし、休学者、国費留学生、RA（リサーチ・アシスタント）採用者及び日本学術振興会特別研究員は応募できない。

また、留年者（休学による者を除く）も原則として（※）応募できない。

（※本人の責によらない事由により留年せざるをえない場合は、主任指導教員（主指導教員）が確認・作成した「理由書」を併せて提出することにより申請を受け付けます。「理由書」の様式は、必要な場合にのみ別途配布しますので、申し出て下さい。）

3 申請方法

研究遂行協力員を志望する者は、「**研究遂行協力員計画書**」（様式1）に必要事項を記入し下記窓口に提出すること。（注：申請にあたっては、計画書の所定の欄に**指導教員の確認印が必要**になります。事前に指導教員と相談のうえ、“計画書として完成した書類”を提出して下さい。確認印のない書類は受け付けません。）

計画書用紙等の配布及び提出場所：

連合農学研究科学生の場合・・・連合農学研究科事務室

様式をメール（添付ファイル）で取り寄せ希望の場合は、下記へお申し込み下さい。

連合農学研究科学生の場合・・・連合農学研究科事務室（rendai@iwate-u.ac.jp）へ

注意：計画書は、必ず平成29年度後期の指定様式で作成してください。様式は改変しないこと。

計画書の提出期限：平成29年8月25日（金）厳守

4 選考方法

計画書が提出された場合は、各研究科による審査を経て、大学院委員会で選考し決定する。

5 研究遂行協力員への支援

当該学期授業料の半額を免除する。（平成29年度後期分授業料の半額を免除）

6 研究遂行協力員報告書の提出

平成29年度後期に研究遂行協力員に採用された場合は、平成30年3月9日（金）までに「**研究遂行協力員報告書**」（様式2）を作成し、学務課総務グループ（岩手大学学生センター⑤番窓口）、又は連合農学研究科事務室へ提出する。採用学期末にこの報告書を提出しなかった者には、次学期の申請を認めないことがあるので、期限厳守で必ず提出すること。

報告書様式をメール（添付ファイル）で取り寄せ希望の場合、申込先は上記3の計画書様式の場合と同じ。

注意：報告書は、必ず平成29年度後期の指定様式で作成してください。様式は改変しないこと。

7 その他

- ・申請者は、選考結果（11月下旬）が確定するまで、当該学期の授業料が徴収猶予されます。
- ・授業料の納付方法は「一括納付」ではなく、「半期ごとの分割納付」で手続き願います。
- ・通常の授業料免除と研究遂行協力員の両方に申請することができます。
- ・RAと研究遂行協力員の重複採用はできません。RA希望者も研究遂行協力員に申請することは可能ですが、RAの採用が決定した時点で研究遂行協力員の申請は取り下げさせていただきます。

問い合わせ先

○学務部学務課総務グループ TEL 019-621-6054 E-mail : gsomu@iwate-u.ac.jp

○連合農学研究科事務室 TEL 019-621-6247 E-mail : rendai@iwate-u.ac.jp